

船小ハイブリッドパワー

— 学校と家庭を結び —

校長室だより No.32

“やさしく かしく たくましく”

～ 本気と礼節の教育 ～

令和4年11月8日 文責:安生昌弘

◆ マラソンは体力づくりのみにあらず

今、校庭では連日の好天に助けられて、全学年とも今月中旬以降にあるマラソン記録会の練習が花盛りです。子ども達が互いに応援し合いながら、ひたむきに走る姿は何とも良いものです。それぞれが立てている目標を達成できるように祈っている毎日です。

しかし、練習に前向きな子どもばかりではないようです。憂うつな気持ちで登校する子もいれば、何かと理由をつけて体育の授業を見学する子もいるようです。つまり、マラソンは辛いので、練習から逃げたいと感じているのでしょう。でも、逃げていては自分自身がより良くなる道を一步も進むことは出来ません。つまり、マラソンは身体の持久力を付ける体力づくりのためだけでなく、辛いことに打ち勝つ心、すなわち「たくましさ」を身に付けるのに絶好の運動です。とは言うものの、人はどうしても楽な方へ流されがちです。子どもも同じなので、マラソンの練習に前向きになれるよう、背中を押すための話を昨日の全校集会でしました。マラソン記録会当日に自分自身に打ち勝ち、自己記録を更新できることを期待しています。

実は、勉強に向かう気持ちもマラソンと一緒に辛いことに打ち勝つ心が大切です。勉強の面白さに気づける人は幸せですが、滅多に居ないでしょう。最近は、全国的に「“学習”から逃げる子ども達」が問題になっています。先生達は「分かる、できる授業」「学ぶことが楽しくなる授業」に心がけていますが、何事にも逃げないで立ち向かう心を持つことは、人生において大きな意味を持つのかも知れません。



◆ 交通安全鼓笛パレード

田村地方交通安全対策協議会(会長 田村市長)の要請を受け、第13回交通安全大会(田村市開催は3年に1回)の開会を彩る交通安全パレードに鼓笛隊(現在は6年生のみで編制)が船引中 吹奏楽部と共に参加することとなりました。下記の通り行われますので、沿道でご覧いただきたいと思います。雨天等で中止の場合は、午前10時30分までにメールでお知らせします。



◎ 日 時 令和4年11月16日(水) 13:10～13:50

◎ コース 船引中学校下 — 学園通り — 中央通り 大鎬矢公園前右折
— 船引公民館駐車場 (→ 帰校して通常授業)

上記のように今年は3年に一度の交通安全大会があり、鼓笛隊は2回の披露の機会があります。しかし、通常の年は年1回の運動会しか披露のチャンスがありません。そのために鼓笛隊引き継ぎを含めて児童に多くの練習時間を強いることや担任教員が多くの指導時間を充てることは、本当に適正なのかを考えなければなりません。令和2年度に鼓笛隊に関するアンケート調査をしましたので、3・4年度2年間は鼓笛隊活動を行いました。来年度以降については校内で検討して参ります。

学校と家庭がタッグを組み、一つ(ハイブリッド)になって2倍以上の力(パワー)で効果的に子どもたちを育てたいと願い、校長室だよりを『船小ハイブリッドパワー』と名付けました。